

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

玉名市地域学校協働本部
事業だより第62号
令和4年9月21日

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますように

冬の寒さは(余寒)は春分の頃まで、夏の暑さ(残暑)は秋分の頃までには和らぎ、凌ぎやすくなる、という意味の慣用句です。気象庁が「異常気象」とした今年の夏が果たして静かに引いていくのかと心配しましたが、台風14号が通過した後、一気に涼しくなりました。朝夕は寒ささえも感じます。やはり「暑さ寒さも彼岸まで」のようです。あの「肌を刺すような陽射し」と「危険な暑さ」とはここでお別れしたいものです。

日の出は遅く、日の入りは早くなりました。吹く風に秋を感じるようになり、そろそろ衣替えを考える時期に。近所の田圃の稲は頭を垂れ初め、畔には彼岸花が色を添えています。見上げると、澄み切った青空には秋の雲が浮かんでいました。



秋の雲 はてなき瑠璃の 天をゆく (山口誓子)

今年の彼岸は9月20日(火)から26日(月)まで。学校では前期の総括をされている頃かと思われます。令和4年度も折り返しを迎えています。

第62号、第63号で玉南中校区(八嘉小、伊倉小、玉南中)の活動の様子をお伝えします。

伊倉小学校



5/19 ポットに種植え



地域学校協働活動推進員の松本様の呼びかけで集まっていた地域の方々に、ポットに種を植えてもらいました。一つ一つ丁寧に作業していただきました。

6/16 花壇へ花植え



5月に種植えをして育った苗を花壇に移植していただきました。伊倉駅にも植えていただきました。



7/20 家庭科「ひと針に心をこめて」



地域学校協働活動推進員の松本様の呼びかけで集まっていた地域の方々に、5年生の家庭科「ひと針に心をこめて」の学習で、地域の方々に裁縫の仕方を教えていただきました。子供たちと共に活動出来て楽しいと語られていました。子供たちも丁寧に優しく教えてもらっていい作品ができた喜んでいました。

9/7 2年生「伊倉駅探検」



2年生の生活科「町探検」で伊倉駅を見学に行った時、地域学校協働活動推進員の松本様の呼びかけで集まっていた地域の方々やJRの方々から話を聞きました。子供たちは大喜びでした。

裏面あり

八嘉小学校

2年生「まち探検」5/17



生活科の時間に、地域学校協働活動推進員の假屋さんと学校応援団の川田さん、早川さんをお招きして「まち探検」の学習を行いました。校区にお住まいの3名の方から、校区のことについて詳しく説明していただきました。

3, 4年生「玉名音頭」6月～7月



総合的な学習の時間に地域の祭りについて学習しました。その中で、玉名の盆踊りである「玉名音頭」について、玉名文化協会の林田さんを中心に地域の方に踊り方を教えていただき、8月に行われた「くまもと子ども芸術祭 in たまな」で披露しました。

4年生「八嘉夏祭りについて」6/14



祭りの立ち上げに関わられた黒田さんをお招きして、八嘉夏祭りについての学習を行いました。

【児童の感想】

夏祭りについてお話ししてくださってありがとうございました。くわしく教えてくださったのでとてもよく分かりました。1年生の時にしかやっていなかったのが祭りのことを知ることができて良かったです。

6年生「八嘉の歴史・人物について」7/20



地域にお住まいの谷口さんをお招きして、八嘉地域の歴史や人物について学ぶ学習を行いました。

【児童の感想】

八嘉小が建てられるまでの歴史を初めて知りました。花作り委員会の歴史について、道路にゴミが多かったからゴミをなくす取組を一人でしていて共感した人が一緒にしていたと言う話が心に残りました。私は皆さんの思いを知ることができて良かったです。



＝編集後記＝

ある地域学校協働本部運営委員さんと話をしていると「校区の広報誌に地域学校協働活動の様子が紹介されていました。この事業も地域に浸透しつつあるようですね」とおっしゃいました。嬉しかったです。他の校区でも同じように、本事業を支館の広報誌、学校運営協議会の広報誌、PTA新聞、学校通信・学級通信などで取り上げていただいています。また、年度末には学校と地域の協働の様子をパンフレットにまとめ市内の公共施設等で発信されている校区もあります。誠に有難いです。

この活動に関わっていただいた方々が、共通のねらいを明確に持ち、確実に歩を進めておられることによりこの活動の「よさ」が発揮され、皆様がその「よさ」を実感できている。そのことが情報を発信し合うことに繋がっているのだと考えます。これこそ「文化」ではないでしょうか。

この事業だよりの配布先には限界がある中、更に地域の隅々まで毛細血管のようにエネルギーを伝えていただいていることに感謝申し上げます。それはまた、本事業に関わって下さる大勢の方々の熱意に他なりません。感謝申し上げます。そして、これからもよろしくお願いします。

こんな大学入試問題があります。

「ある星から地球にやってきた宇宙人が、次のような質問状を残していきました。

『地球でいちばん驚いたことは、地球人が国という単位に分かれて暮っていて、国ごとに異なる制度の下で競い合っていることです。私たちの星には、国という制度ばかりか、その概念すらありません。そこでお聞きしたいのですが、地球人はなぜ国という単位に分かれて暮すことを好むのですか？』

以上の質問状に書かれた問いに答える形で、宇宙人への返事を400字程度で書きなさい。」

2013年度慶応義塾大学法学部 FIT 入試問題です。単なる知識の暗記だけでは答えられない問題だし、答えも一つには限定されないでしょう。そして、誰がどのように評価するのでしょうか…。

さて、皆様でしたらどのように返事を書かれますか？

※先生方への回覧と地域学校協働活動推進員さんへの手渡しをお願いします。



人を育て 地域を創る

玉名市地域学校協働本部
事業だより第63号
令和4年9月21日

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉南中学校から届いた下のデータを読んでいると、数日前の地元紙に載っておられた宇城市教育長であり大津高校サッカー部総監督の平岡和徳氏の講演が浮かんできました。2年前も取り上げましたが、同氏の講演を聞いた際に記録していたキーワードを前回と幾分被らせながらいくつか紹介します。

「まず、自分の課題を知れ」「1日24時間をデザインしろ」「転ぶことは悪いことではない。すぐ起き上がらないことが悪いのである」「目指すゴールのない者に進む道はない」「苦しいとき、もうダメだと思ったとき、次に何ができるか。それが力である」「変化の先にしか進化はない」「楽をして成長はない。ただ何となく…では先は見えてこない」「凡事徹底である。人間性というバックボーンができあがると積み上げられる」「感謝する心を持って。感謝しているとき、人間が一番成長しているときである」「顔見ろ。真剣さが増すと目力が増し、いい顔になる」「苦しい時、そこで止めるか乗り越るかで人生が変わる」etc.



玉南中学校

人としての生き方を学び、将来の夢を育む

2年職場体験学習(9/1~9/2)2年生 37名が19の職場に分かれ職場体験学習を行いました。



【生徒の感想】

普段、大人の人たちがしている仕事を体験して、仕事のたいへんさを実感することができた。また、心配りすることの大切さを学ぶことができた。私は将来何になりたいという夢が決まっていないので、これからの勉強など頑張りたい。社会に通用する人間になるために必要なことがわかった。

3年認知症サポーター養成講座

講師：玉名市包括支援センターの皆様



【生徒の感想】

家族を一番支えることができるのは、家族のことを一番理解している私たちだから、自尊心を傷つけない、話を合わせるなど教えてもらったことを大切に、私たちを頼れる人だと思って欲しい。認知症は誰でもなる可能性がある病気であるので正しく理解していくことが大切だと思った。

3年アイマスク体験

講師：社会福祉協議会の皆様



【生徒の感想】

何も見えない、どこにいるのかわからない状況はとても怖かった。障害物がないことが分かっても怖くて次の一步を踏み出すことにとても時間がかかった。介助についてもらって隣の人が笑ってくれたり、危ないときは教えてくれたりすると、とても安心感が大きかった。私自身が安心してもらえるような存在になれるといいなと思った。

1年パルクール体験

講師：いだてん玉名の皆様

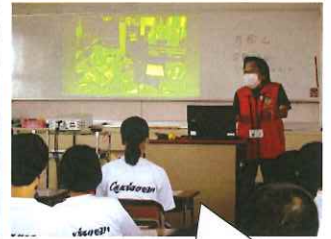


【生徒の感想】

今日、自分は初めてパルクールを体験してまず難しいという感想を持ちました。やっていくうちに自分が苦手なところ、動きが分かってくる、どうやったらやりやすくなるかということ、友だちやコーチのお手本を見て学ぶことができました。友だちと協力したり対決したりと、とても楽しい時間でした。

1年防災学習

講師：広瀬氏(南阿蘇防災ガイド)



【生徒の感想】

私は、熊本地震の時、大きな被害はなかったけれど、広瀬さんの話を聞いて心に残ったことがあります。それは自分が支援者となったときに「大丈夫？」ではなく、「何をすればいい？何でも言って」と困っている人に寄り添うということです。これから先このような大きな災害などで困っている人にしっかり寄り添えるようになりたいです。